

長寿を祝い町から記念品を贈呈

敬老の日の九月十五日、今年百歳を迎える長寿者の方(明治四十二年四月から同四十三年三月生まれ)に敬意を表し、井上町長が自宅や施設を訪問し、町から祝詞と記念品、内閣総理大臣からの銀杯を贈りました。

今年度中に満百歳をお迎えになるのは、横路孝一さん、

荒木猪波子さん、山田シゲコさん、中西清一さん、塚原アサヨさん、景山マツノさん、石原満子さんの七人です。井上町長から「これからもお体に気をつけ、もっと長生きしてください」と言葉をかけ、長寿を祝いました。

現在、町内には百歳以上の方は、二十二名おられます。



記念品を受けとる景山マツノさん(三沢)

一層の玉鋼品質向上へ

日刀保たたら

高殿増築、休憩所新築

鳥上にある「日刀保たたら」で、今年六月から進められていた、高殿増築と休憩所の新築工事が終了し、九月二十九日、竣工式が行われました。

高殿増築は、村下養成員の実験研修を目的として、冬場の操業時に、材料を効率的に使用することができ、作業効率の向上が図られます。

さらに、新築された休憩所は木造二階建てで、三昼夜にわたり操業に従事する、村下養成員の仮眠場所として個室

や風呂場が拡充されました。

今回の整備により、一層の玉鋼の品質向上、後継者の養成が期待されます。

また、この日から四日間に行われ、日本刀作りの技術を学ぶ「作刀技術研修会」も行われ、全国から集まった十五人の刀匠が、講師三人の指導で刀剣の焼入れ作業などを行い、技術を磨きました。



増築された高殿や休憩所を見学する関係者

稲刈りで交流

一味同心塾で農業体験

料理研究家・中村成子さんが館長を務める上阿井の「一味同心塾」で九月二十六日、春の田植から続く農業体験交流の一環として、稲刈りが行われました。

参加者は、広さ約三十アールの田んぼに入り、無農薬栽培のコシヒカリを手刈りとバインダーで刈り取り、協力して七段の立派なハデに稲束を掛け心地よい汗を流しました。昼食には、仁多米のおにぎ

りや豚汁が振る舞われ、参加者は楽しいひと時を過ごしました。

米子市から参加した家族は「春の田植えに初めて参加し、子どもたちも収穫を楽しみにしていました。とてもよい経験になりました」と話していました。

この昔ながらの安心、安全な米づくりは、本町の交流人口の増加、仁多米のイメージアップに大きく寄与しています。



稲刈り作業を行なう参加者

掛け声勇ましく

阿位八幡宮 押輿神事



五穀豊穡や家内安全を願う神輿を押し合う、全国でも珍しい押輿神事が、十月一日、阿位八幡宮で行われました。緋の衣に白禪で身を整えた約百人の氏子が、神社を中心に上手・下手に分かれて素足で社殿下の石段前に集結。境内に堅木造り・約二百口の神輿が投げ落とされると、押し合いとなりました。押し合いは、自分の地域の方へと掛け声勇ましく押し合い、時機をみて神幣を奉持した当家司が、押し合う人々の背によじ上り、神幣を振って停止を命じました。今年、下組が勝ちとなりました。

平成21年度

奥出雲町

肉用種牛共進会 肉用子牛共進会

平成二十一年度の奥出雲町肉用種牛共進会が九月十六日、仁多中央家畜集合所で、肉用子牛共進会は、十月十二日、横田畜産センターで開催されました。

上位入賞者
肉用種牛

【特選賞】

首席 「さつき4」号

藤原 栄(三成支部)

次席 「わかさ」号

佐藤尚子(亀高支部)

三席 「ふうか」号

部田泰久(八川支部)

団体優勝 馬木支部



首席 さつき4号と藤原 栄さん 肉用種牛

肉用子牛

【特選賞】

首席 「ふくぶじ4」号

藤原トミ子(横田支部)

次席 「ひな」号

森田 正寿(横田支部)

三席 「はるか」号

勝田 稔(横田支部)

団体優勝 横田支部

今回の共進会のうち、肉用種牛特選賞六席まで、肉用子牛特選十席までに入賞した出品牛は、町の代表として県の共進会へ出場します。



首席 ふくぶじ4号と藤原トミ子さん 肉用子牛



元気いっぱいプレー 第29回 島根県サッカー選手権大会



力強く選手宣誓

大会成績

【男子一部】

優勝 みなりサッカー

準優勝 スポーツ少年団

準優勝 20センチユリ

準優勝 ボーイズ

【男子二部】

優勝 高田オクラホマ

準優勝 ミキサーX

準優勝 みなりサッカー

準優勝 クラブ

【女子一部】

優勝 みなりサッカー

準優勝 スポーツ少年団

準優勝 馬木小学校サッカー

準優勝 Iスポーツ少年団

【女子二部】

優勝 馬木サッカー

準優勝 クラブウィング

準優勝 みなりサッカー

準優勝 クラブ